

農業機械 北海道

No. 878

平成 26 年 1 月 1 日 (2014)

＝ 発行所 ＝

一般社団法人北海道農業機械工業会

編集発行人 原 令幸

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 3 丁目
タケサトビル

Tel : (011)-251-7743 Fax : (011)-241-0497

Email: info@hokunoko.jp

http://hokunoko.jp/

目次

新年のご挨拶	1
一般社団法人北海道農業機械工業会 会長 青柳 稔	
年頭所感	3
経済産業省北海道経済産業局 局長 増山 壽一	
平成二十六年知事年頭所感	4
北海道知事 高橋 はるみ	
JAPAN ブランド 2013	5
今年の新製品・主力製品	8
農業機械業界・本会会員の動き	9
編集後記	9
新年名刺広告	10



AGRITECHNICA2013 会場 ドイツ ハノーファー

新年のご挨拶



一般社団法人北海道農業機械工業会
会長 青柳 稔

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

年頭に当たり、日頃から本会にお寄せ頂いております皆様のご指導とご支援に対して、衷心より厚く御礼申し上げます。

世界の経済情勢は、様々なリスクを抱える中、緩やかな回復へと進む状況です。

アメリカは政府支出の減少が下押し圧力となるものの、自動車購入や住宅投資が景気回復のけん引役となっていくことが予想され、民間需要は堅調と思われまゝ。EUでは債務危機も一段落し、輸出主導で緩やかに景気回復するであろうと思われまゝ。

一方、中国は過剰投資の是正の影響から、かつての2ケタ成長は終焉を迎え、7%台の中成長局面へと移行中であり、景気の勢いに弾みがつく状況ではないとされています。

日本では昨年来、金融緩和、財政出動、成長戦略を3本の矢とする安倍政権の“アベノミクス”が功を奏しており、2013年度末までは消費税アップ前の駆け込み需要もあって、加速傾向にあります。2014年4～6月期につきましては、消費税アップ後の反動は避けられそうにない状況ですが、その後は緩やかにではあるものの徐々に回復し、景気後退には至らないとの予測がされております。

3月までの経済状況は国内農業に対しても同様で、農業機械に対する補助事業等があり、北海道内の農業機械メーカーに対しては、大いに追い風が吹いているような状況となっております。

ただ、消費税率が8%となって、減反政策の大転換が行われ、これにも増してTPPへの参加が表明されたことで、近い将来への不安感は増してはおります。

農政の方向をしっかりと見極めて、方向性が決まった段階で機敏に行動することがより重要となってくるものと考えております。

また、農業の6次産業化・農商工連携についても、新しいステージへの進展が見られました。昨年10月には、農林水産省から「農業界と経済界の連携」に対する指針が示されて、ロボット・IT技術業界等の関係者と、農機業界のワーキンググループの設置も行われました。ICT（情報通信技術）によるスマート農業、次世

代施設園芸など、農業への注目度や成長産業としての期待は高まるばかりです。それを支える農業機械の使命は、ますます重要になって来ると考えまゝ。

さて、7月には、第33回国際農業機械展 in 帯広が開催されます。八年越しのこの展示会を北農工としましては、是非とも成功裡へと導かなければなりません。北海道内はもちろん、日本国内や海外からのお客様に対しても、新しい北海道農業をアピールして参ります。新たに農業に参入したいという企業の方々に対しても、注目の農機展となる筈です。

北海道の農業機械の更なる価値向上を目指し、引き続き諸外国への継続的なグローバル展開も視野に入れて、会員各社の支援も行って参ります。昨年11月には、ドイツ・ハノーバーで開催されました『アグリテクニカ2013』に、北農工として出展をおこないました。中小企業庁が行っている『JAPANブランド育成支援事業』にも、引き続き参画して、北海道の優れた畑・野菜作・酪農畜産用農業機械をEUやアジア等に発信して参ります。

本年も関係諸機関、関係団体の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

この新しい一年が皆さま方にとりまして素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお喜びを申し上げます。年頭に当たり日頃から本会にお寄せ頂いております皆様のご指導とご支援に対し衷心より厚く御礼申し上げます。

北海道経済産業局長 年頭所感



経済産業省北海道経済産業局
局長 増山 壽一

平成 26 年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のが国経済を振り返ると、長引くデフレからの早期脱却と持続的な経済財政を図るためのいわゆる「三本の矢」の効果で、日本経済は着実に上向いております。北海道経済も堅調な生産や個人消費の拡大、好調な観光、雇用状況の改善など景況は好転しており、デフレ状況は徐々になくなりつつあるものの、「三本の矢」の効果も、地域経済の隅々、個々の生産者、生活者まで十分に行き届くようになるためには、もう一段の施策と明るい経済についてのより明確な見通しが必要となっています。

こうした中、昨年 10 月には「経済政策パッケージ」、先月には、国費 5 兆 5,000 億円を投入する「好循環実現のための経済対策」が決定されました。併せて臨時国会では、産業競争力強化法が成立し、新たな市場を開拓しようとする企業を支援するために、「企業実証特例制度」や「グレーゾーン解消制度」といった規制改革スキームが用意されました。新たな市場創造や事業展開を促していくため、規制改革スキームや税制、補助金などにより、生産性向上のための設備投資等を一層促進してまいります。まさしく、三本の矢を使って、果敢に市場を開拓し、雇用を作り出す企業を全面的に応援して、デフレ脱却を着実なものとし、日本経済全体を再生していく覚悟であります。

また、昨年 11 月には、北海道の戦略産業を特定し、地域資源を掘り起こし、道内経済の持続的成長を促していくため、北海道庁と共に「北海道産業競争力協議会」を設置いたしました。本協議会で精力的な議論を行い、本年 3 月をめぐりに

長戦略をまとめる予定ですが、その議論と連動しつつ、様々な具体的取組を推進してまいります。

まず、北海道の強みである「食産業」を核として、食品の高付加価値化のための実証事業や設備投資、アジアや中東地域における販路開拓を支援してまいります。また、食と観光を融合した新たなビジネスモデルの構築支援を行うことにより、これまでの「農商工連携」に加え、「観光・農商工連携」も推進してまいります。ヘルスケア分野においては、医療・介護機関と食関連分野の事業者との連携強化を図るとともに、現行の規制の適用範囲が不明確な「グレーゾーン」の解消等を通じ、北海道らしいヘルスケア産業の成長を促し、「医・農商工連携」にも取り組んでまいります。

また、道内事業所の 99%以上は、中小企業・小規模企業であり、地域における多様な経済の担い手であると同時に経済発展を支える原動力です。これまで、ものづくり産業における試作開発・設備投資等を支援してきたところですが、商業・サービス業における新サービスの開発等にも支援を拡充してまいります。また、中小企業・小規模企業の新陳代謝を促進するため、女性・若者を始めとする創業や現場を支える人材の育成も促進してまいります。一方、本年 4 月 1 日には消費税率の引上げが控えています。昨年 10 月に「消費税転嫁対策室」を設置したところであり、相対的に交渉力の弱い中小企業・小規模企業が不当に不利益を被ることのないよう、転嫁拒否等の監視・取締りを行ってまいります。

北海道における食を始めとする中小企業・小規模企業の持続的成長を支えるには、エネルギーの安定供給が不可欠です。現在も冬の厳しい中、6%以上の数値目標付きの節電をお願いしておりますが、持続的成長を支えるための電力の安定供給確保の必要性を新たに覚悟するとともに、併せて工場やビル等における高効率な省エネ設備等の導入促進を図ってまいります。

私を含め当局職員皆は、活力のある北海道を創造するために、北海道に根ざしたローカルな視点を持ちつつ、常に現場を大事にしながら、併せてグローバルな視野で仕事をする、皆様にとって身近な存在で今後ともあり続けたいと願っています。皆様と一緒に具体的で前向きな行動を起こし、明るい未来の日本に向けて素晴らしい一年となるよう、職員一丸となって邁進してまいります。

本年が皆様にとって実りの多い飛躍の年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

平成二十六年 知事年頭所感

北海道知事
高橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、平素から道政各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国では、震災からの復興はもとより、急速に変化する国際社会への対応や持続的な経済成長の実現などが求められる中、経済の再生に向けて様々な政策が打ち出され、景気が穏やかな回復を見せるとともに、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されるなど、明るい話題があった一方で、局地的な豪雨や大型台風などが日本各地で猛威をふるい、また、消費者の信頼を損なう食品の不適切表示などが問題となった一年でもありました。

本道においても、暴風雪によってかけがえない人命が奪われるなど、自然災害が道民の皆様の安全・安心を揺るがすとともに、暮らしや地域経済を支えているJR北海道の運行管理に重大な課題が明らかとなりました。

こうした中、道内では北海道独自の食品機能性表示制度がスタートし、北海道米に続く道産小麦などの食のブランド化に向けた取組が拡大するとともに、アジアを中心に海外か

ら多くの観光客が本道を訪れ、また、災害リスクの低い本道に道外からの本社機能・生産拠点などの移転が進んでいるほか、バイオマスなどによるエネルギーの地産地消に向けた取組が広がりを見せ、さらには、アイヌ文化の振興に向けた「民族共生の象徴となる空間」が具体化するなど、道民の皆様とともに描き、共有してきた夢の実現に向けて、確かな手応えが得られた一年であったと感じています。

私は、先人から受け継いできた、豊かな食、美しい自然、世界に誇る環境・文化といった「北海道価値」を一層発揮させ、本道の未来への展望を切り拓いていくことを目指して取り組んでいます。

このため、本年においては、食や観光をはじめとする産業群の創造など「経済の活性化」、本道の自然環境を活かす「環境先進地づくり」、人口減少・高齢化を見据えた「安心社会づくり」に向けて、地域の皆様と手を携え、地域にこだわった道政を展開していくとともに、自らの夢に向かって果敢に挑戦する未来を担う人づくりを積極的に進めます。

また、本道の基幹産業である農林水産業を発展させ、次世代に継承していくことができるよう、TPP問題への対応にもしっかりと取り組みます。

北海道新幹線の開業まで二年余りとなり、本道にとって新時代の幕開けがいよいよ近づいてきました。私としては、本年が北海道の新たな発展にとって重要な一年になると確信しており、経済が活気を取り戻し、誰もが安心していきいきと暮らすことのできる北海道を目指し全力を尽くす決意です。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、輝かしい未来に向けて歩みを進める年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

JAPAN ブランド 2013

AGRITECHNICA 出展は大盛況

当会では、JAPANブランド事業により平成25年度はドイツのハノーファー市で開催された

AGRITECHNICA2013に出展した。展示会には当会会員のIHIスター、アトム農機、エフ・イー、オサダ農機、サンエイ工業、東洋農機の6社が出展した。展示会ではディーラー等の反響が大きく、これは2回目の出展の影響と思われる、継続することの大切さを感じた。展示会の概要を紹介する。

展示会場には約50haで敷地内に設けられた屋内ホール24と屋外敷地1である。屋外は大型の林業機械が展示され、その他の機械は全て屋内ホールの展示である。展示会場の移動は左と右まわりの循環バスを利用する。

展示会場の入り口は8カ所あり、路面電車が止まる北入口、ドイツ鉄道の駅（期間中は特急列車が臨時停止）がある西入口からの出入りが多い。国旗の日の丸は北と西入口に設置されており、前回より増加していた。



北入口の国旗



路面電車がつく北入口

【展示会への出展会社および来訪者】

ヨーロッパの農業機械展を規模別にみると、ドイツのAGRITECHNICA、フランスのSIMA、イタリアのEIMAが上位3位で、来訪者数を見るとAGRITECHNICA2013は45万人、SIMA2013は24.9万人、EIMA2012は19.6万人となっている。その他スペイン、イギリスなどでも開催されている。

2013年のAGRITECHNICA出展会社数はドイツ1,391社、海外1,507社（46か国）、合計2,898社（47か国）であった。2011年の前回と比べると、195社（ドイツ+31社、海外+110社）の増加となっており、これは主に海外からの出展会社が増加している。海外からの出展会社を多い順にみると、イタリア368社、オランダ117社、中国とフランスが101社、トルコ92社、オーストリア81社、イギリス61社となっており、ヨーロッパの工業国からの出展が多い。

展示会への来訪者は83か国で、ドイツ33.8万人、海外11.2万人、合計45万人で、前回より約3万人増え、世界最大の展示会である。

【メダル受賞機械】

AGRITECHNICA展示会のコンセプトは「技術革新による貢献」であり、新しい機械やシステムに国を問わずメダルを授与し、開会前日に表彰式が行われる。今回はGold Medal 4機種、Silver Medal 33機種であった。Gold MedalはGrimme社のジャガイモと石・土塊の気流分離装置、Rauch社の超音波によるブロードキャストの散布幅計測と散布量制御、Merlo社のハイブリッドテレハンドラ、Claas社のトラクタや収穫機のオンラインシミュレータである。Silver Medalにもユニークな技術革新が見られた。



Grimme 社の石・土塊選別ポテトハーベスタ

【北農工の展示】

展示スペースは12×5m、60m²と前回の半分強の広さで、会場装飾などに経費節減を図ったが結構経費は高い。展示場所は収穫機関係の展示が多い21館のD21である。

北農工は2回目の展示であったためディーラーの来訪が増え、前回の展示も知っていた。出展回数が増えると認知度の向上とともに信頼が増すと思われ、狭いブースでも良いので継続した出展が必要であろう。また、EUやその他の国、政府関係者等から農業情報なども知ることができるメリットは大きい。



準備中の北農工展示ブース

【DLGのセミナーと特別企画】

展示会ではセミナー開催が当たり前の様になっており、今回も会場内に設けられてブースで多数の講演が行われ、質問が飛び交い、聞くだけのセミナーでない。今回の主要なセミナーを紹介すると「Smart farming (スマートファームिंग)」, 前回からこの名称がつかわれているが、以前から行っていた精密農業とITを融合した農業機械と農業への貢献に関するセミナーである。朝10時から16時まで6日間行われ、最新技術の紹介、実施成果などの講演があった。

今回新しく設けられたセミナーは「Rice production (コメ生産)」で、EUでは生産が少ない分野であるが世界の食料生産の観点で重要と考えられたのだろう。このセミナーは7日間行われたが、Smart farmingより演題数が少なく、また耕起、碎土、直播のテーマが多かった。初回でありテーマ設定はあまり芳しくなかった。今後も引き継がれると考えられ、発展する可能性が高い。日

本のコメ生産に係る技術を紹介したいものである。

特別展示は「Historical agricultural machinery and equipment (歴史的なトラクタと機械展示)」で、ディーゼルエンジンを発明したRudolf Diesel没100年記念の展示であった。展示会場には1905年MAN社製、96.4トン、20PSのエンジンが稼働していた。その他にも蒸気トラクタや古いトラクタ、1957年製Claas社の古い自走式コンバインなどが展示されており、これらの機械は運転可能とのことであった。



MAN社のディーゼルエンジン、20PS、1905年製

農業機械の大型化傾向は続いており、今回も花形の大型トラクタやコンバイン、ハーベスタなどの展示が多かった。しかし、土壌踏圧による生育不良や排水不良などが起きており、これ以上の大型化は困難で軽量機械による複数同時作業の研究が進められている。以下に大型機械の写真を示す。



大型トラクタ
タイヤ本数を増やしても踏圧は防げない



大型コンバイン
前輪の代わりにクローラ採用が増加



大型播種機



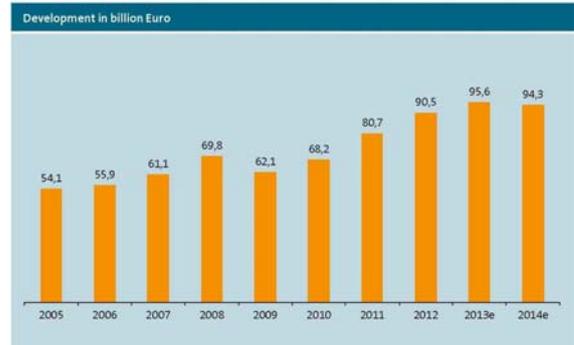
自走式ビートハーベスタ



国際ラウンジ
コーヒーを飲みに寄られてはいかが

より EU における農業機械の概要を紹介する。世界の農機生産額は増減があるものの 2005 年以來毎年増加し、2013 年は 943 億ユーロとなっている。地域別にみると EU、北アメリカが全体の 1/2 以上を占めており、中国の増加が著しい。

Worldwide Production of Agricultural Machinery



世界の農機生産額



世界の農機生産額の地域別割合

EU ではトラクタは-3%で、フランスのみが増加で、その他の国は減少している。作業機は EU 全体では前年とほぼ同じで、その内ドイツ、フランスは増加、イタリア、イギリスは減少している。

European Agricultural Machinery Markets



EU の作業機市場動向

【VDMA ドイツ機械工業会資料より】
VDMA が発刊した「Market Perspectives2014」

今年の新製品・主力製品

会員各社の今年の新製品・主力製品を紹介するため、各社からの報告に加えて、「農経しんぼう」および「農機新聞」のホームページなどから情報を収集した。引用を許された農経新報社と新農林社に厚く御礼申し上げます。両ホームページの URL は下記の通りである。

農経しんぼう：<http://www.n-simpo.co.jp>

農機新聞：<http://shin-norin.co.jp>

1. エフ・イーの新製品・主力製品

異形根菜類洗浄機

ダイコン、ニンジン、ナガイモ、ゴボウなどの洗浄機を開発・販売してきたが、新たにショウガ、キクイモ、ウコンなど複雑な形状の野菜を洗浄する洗浄機を開発した。

異形の野菜を洗浄するには単にブラシでこするのではなく、縦軸搬送ブラシで原料を回転させながら洗浄する方式で、回転させることにより高圧水が隅々まであたり、曲りや凹み部分の汚れやくすみを洗浄する。洗浄ノズルは特殊扇型ノズルを採用し、洗浄ポンプは標準装備となっている。

洗浄ブラシは耐摩耗性の特殊ナイロンブラシで、原料の状態や付着している土の質により洗浄ムラをなくすため、インバーターによりブラシ回転数を任意に変更できる。



異形根菜類洗浄機

型式	FGW-S
寸法	765W×2,730L×1,870H
処理能力	500-600 kg/h
必要水量	68 リットル/分
動力	0.75kW, 三相 200V
ポンプ	5.5kW, 三相 200V

2. IHI スターの新製品・主力製品

インラインベアラ

ベールサイズ 36×46×30-120cm の角ベールができる小型のインラインベアラである。ピックアップ幅は 170cm と広く、牧草はもちろん稲わらや豆殻などの残渣の梱包にも利用できる。EU ではトラック等での輸送効率が良いため、ロールベアラから角型のビッグベアラの利用が増加している。本機は AGRITECHNICA2013 に出展した。

機体の大きさは、全長 4.65m、全幅 2.5m、高さ 1.8m、重量 1.69 トンである。



インラインベアラ

農業機械業界・本会会員の動き

☆平成 25 年 5 月 24 日 第 61 回北農工総会開催
第 210 回理事会および第 61 回通常総会が開催された。総会と同時に平成 25 年度表彰式（優良農機，従業員功労，永年継続会員），特別講演会（工業試験場の開発研究と農業機械への利用，工業試験場鈴木部長）も同時に開催された。

☆平成 25 年 6 月 1 日 北農工会長に青柳 稔
IHI スター社長が就任
5 月 24 日の第 210 回理事会で細倉 雄二会長が退任し後任の会長として新理事の青柳 稔 IHI スター社長が選ばれ，6 月 1 日付で就任した。

☆平成 25 年 6 月 1 日 JAPAN ブランド事業【ブランド確立支援事業 3 年目】が採択
当会が申請していた JAPAN ブランド育成支援事業「北海道の優れた畑・野菜用農業機械のヨーロッパ市場開拓プロジェクト（ブランド確立支援事業 3 年目）」が採択された。

☆平成 25 年 9 月 11 日 農業食料工学会記念講演会および大会が開催
農業機械学会が農業食料工学会に名称が変更となり，記念講演会と第 1 回大会が帯広畜産大学で開催された。

☆平成 25 年 10 月 31 日 第 5 回「ものづくり日本大賞」を受賞
北農工会員の受賞者は下記のとおり。

【優秀賞】（製品・技術開発部門）

○重量物のハンドリングの軽労働化を実現した農用トラクタ用リアバケットの開発改良
（株）アトム農機：寺崎 康治

【ものづくり地域貢献賞（北海道経済産業局長

賞）】（製品・技術開発部門）

○作業者を選ばない国産初の農業機械用 GPS ガイダンスシステムの開発
（株）IHI スター：森 素弘，宮西 広樹，高橋 端子

☆平成 25 年 11 月 10 日 「JAPAN ブランド育成支援事業」の参画企業 6 社および当会が AGRITECHNICA 2013 に出展

JAPAN ブランド育成支援事業の一環として，北海道農業機械工業会と事業参画会員企業 5 社（IHI スター，アトム農機，エフ・イー，オサダ農機，サンエイ工業，東洋農機）が出展し，ディーラー等との商談を実施した。



AGRITECHNICA2013
Rice production のセミナー

編集後記

- ★TPP 交渉，決着の中身と農政の動きに注視。
- ★急激な円安で輸出産業は上向き。輸入資材や燃料の高騰，消費税上げなどで，次年度の農機売り上げの行方は？
- ★7 月に帯広で国際農機展開催予定。国内・海外へのアピールに絶好の機会。
- ★農作業事故減少はなかなか進まず。良い対策は？ 安全性の高い作業機と作業補助者のいない作業機開発が急がれる。
- ★ホームページアクセスは急増。ありがとうございます。

（文責 原 令幸）

平成26年 謹賀新年



IHI GROUP
Realize your dreams

代表取締役社長

青柳 稔

株式会社IHIスター

〒066-8555 千歳市上長都 1061-2
TEL 0123-26-1122 FAX 0123-26-2097
E-mail : minoru_aoyagi@star.ihigrp.ihico.jp
http://www.ihistar.com



東洋農機株式会社

取締役会長 渡辺 純夫
代表取締役社長 山田 政功
代表取締役副社長 太田 耕二

〒080-2462 帯広市西22条北1丁目2番5号
電話 (0155) 37-3191

株式会社 土谷製作所

代表取締役会長 土谷 令次

代表取締役社長 土谷 敏行

本社 札幌市東区本町2条10丁目2-35
電話 (011) (代)781-5883番
E-mail eigyo@sapporo-tsuchiya.co.jp
URL http://www.sapporo-tsuchiya.co.jp



株式会社 福地工業

代表取締役 福地 博行

☎090-0838 北見市西三輪4丁目712番地
電話 (0157) 36-5714(代)
FAX (0157) 36-7512
E-mail h.fukuti@fukuti.co.jp

株式会社 アトム農機

代表取締役 寺崎 雅史

本社 上川郡美瑛町北町2丁目
電話 (0166) 92-3315番
美瑛工場 上川郡美瑛町扇町
富良野工場 富良野市学田3区工業団地
北見出張所 北見市曙町670番地
ホームページアドレス http://atomnoki.com



株式会社 渋谷鉄工所

代表取締役

渋谷 嘉伸

〒090-0832 北海道北見市栄町2丁目1番地2
電話 0157-23-6241(代) FAX 0157-25-4699
E-mail K-sibuya@vesta.ocn.ne.jp
http://www14.ocn.ne.jp/~sibuya/

小樽市銭函2丁目54番地8号

北海バネ株式会社

代表取締役社長 岸 俊之



代表取締役
社長

小西 正司

やまびこ北海道株式会社

札幌市厚別区大谷地東1丁目2番地20号 〒004-0041
Tel 011-891-2249 Fax 011-892-6722
http://www.yamabiko-corp.co.jp/



平成26年 謹賀新年



代表取締役 石村 聡 英
TOSHIHIDE ISHIMURA

株式会社 石村 鉄工 〒071-0215
北海道 上川郡 美瑛町 扇町
TEL 0166-92-2278 FAX 0166-92-2379
URL <http://ishimura-agri.co.jp>
E-mail info@ishimura-agri.co.jp

株式会社 札幌オーバーシーズ コンサルタント

代表取締役社長 滝沢 靖六

〒060-0004 札幌市中央区北4条西11丁目SOCビル
電話 011-231-6547 ファックス 011-231-6595
E-mail : soc@pop02.odn.ne.jp
URL : <http://www1.odn.ne.jp/soc/>



北海道 **みふる** 販売株式会社

代表取締役社長 生本 純一

〒068-2165
北海道 三笠市 岡山214-6
TEL 01267-2-4559 FAX 01267-2-4019
メール hokuhan1@mb.infoosnow.ne.jp

本田農機工業株式会社

代表取締役会長 本田 正一
代表取締役社長 本田 雅義

岩見沢市 栗沢町 北本町 74番地
TEL 0126(45)2211
FAX 0126(45)2212



農機 農は人為1割、自然9割
白 スガノ農機株式会社

土の館 代表取締役社長 菅野 充八

本社：空知郡上富良野町西2線北25号 TEL.0167-45-3151
工場：茨城県稲敷郡美浦村間野字天神台300 TEL.029-886-0031



<http://www.osada-nouki.co.jp>

代表取締役
長田 秀治
Shuji Osada



スーパーキャロットル1号機
(1992年製造)

農業機械開発製造販売
オサダ農機株式会社

〒076-0006 北海道富良野市字扇山877番地3
TEL 0167-39-2500/FAX 0167-39-2501
E-mail : osada@osada-nouki.co.jp

日本キャタピラー CAT

執行役員
北海道支社長

水沢 秀俊 キャタピラーイーストジャパン株式会社
〒004-0802
札幌市清田区里塚2条6丁目3-5
TEL (011) 881-2823
FAX (011) 882-1542
E-mail : mizusawa_hidetoshi@jpnecat.com
URL : <http://nippon.jpnecat.com>

訓子府機械工業株式会社

代表取締役 松田 和之

本社 常呂郡訓子府町東町1番地1
tel:(0157)47-2131 fax:(0157)47-4330
北見工場 北見市西三輪4丁目725番地
tel:(0157)36-5181 fax:(0157)36-8695

平成26年 謹賀新年



株式会社 **カキヤ**

札幌支社

執行役員
支社長 **小松田 清**

札幌市東区北丘珠2条3丁目1番20号



総合農業機械・産業機械・製造販売

北央共立販売株式会社

一級技能士

代表取締役
社長

渋谷 正義

携帯 090-8897-2245

e-mail masayoshi.229.shibuya@ezweb.ne.jp

本社・工場

岩見沢市東町697の3

電話(代)0126)22-6262番

F A X (0126)22-6225番

奈井江支店

奈井江町茶志内970-10

電話(代)0125)65-5115番

F A X (0125)65-5114番



株式会社 **十勝農機**

代表取締役 **飯島 美樹雄**

北海道河西郡芽室町西8条8丁目2番地

エア・ウォーターグループ



株式会社 **日農機製工**

株式会社 **日農機**

代表取締役 **安久津 昌義**

日農機製工(株)本社・工場

所在地：足寄郡足寄町郊南1丁目

電話：(0156)25-2188(代)

F A X：(0156)25-2107

<http://www.nchnp.co.jp>

日農機(株)本社

所在地：音更町字音更西2線17番地

電話：(0155)45-4555(代)

F A X：(0155)45-4556



株式会社 **ロールクリート**

代表取締役 **成田 慶一**

〒082-0043 河西郡芽室町芽室基線19-16

TEL (0155) 62-5676

FAX (0155) 62-5603



総合畑地かんがい・オルガニックリーター総発売元

株式会社 **サンスイ興業**

代表取締役 **高橋 弘**

〒090-0001

北見市小泉413番地10

電話(0157)61-7631 FAX(0157)61-7634

E-mail: sansui1981@proof.ocn.ne.jp

札幌営業所 〒001-0028

札幌市北区北28条西3丁目2番3号

電話(011)688-8808 FAX(011)688-8838

株式会社 **サンエイ工業**

代表取締役 **毛利 剛**

本社 〒099-4115 斜里郡斜里町光陽町44番地
電話(0152)23-2173番(代)

株式会社 **工藤農機**

取締役 **工藤 勝弘**

〒089-1242 帯広市大正町基線45番地

電話(0155)64-4147番

F A X (0155) 64-5021番

平成26年 謹賀新年

 北海道ニプロ株式会社

取締役社長 松山 信久
常務取締役 工藤 忠

〒069-1208 夕張郡由仁町山形5 6 3
TEL 0123-83-2352
FAX 0123-83-2501



Think globally, act locally.
農器 土谷特殊農機具製作所

代表取締役
土谷 紀明

〒080-2461 帯広市西21条北1丁目3番2号
TEL:0155-37-2161・FAX:0155-37-2751
E-mail:pre@tsuchiyanoki.co.jp
http://www.tsuchiyanoki.com




Market Down & Crystal Money

代表取締役社長 小橋 一郎

小橋工業株式会社

〒071-1248
北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番
Tel.0166-49-0070
Fax.0166-87-4600
url: http://www.kobashikogyo.com



和同産業株式会社

代表取締役社長

照井 政志



〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地
Tel.0198-24-3221(代)
http://www.wadosng.jp/



BOLT・NUT & SCREWS
株式会社 隅田 鋌 螺 製作 所
城 東 製 鋌 株 式 会 社

代表取締役 隅田 彰三

札幌営業所 〒065-0019 札幌市東区北19条東21丁目4番11号
TEL (011) 786-7233 FAX (011) 786-7236
帯広営業所 〒080-2461 帯広市西21条北1丁目6番14号
TEL (0155) 66-7023 FAX (0155) 66-7024
本 社 〒577-0815 東大阪市金物町1番8号

株式会社 イダ

営業品目

- ・ストーンピッカー(石礫除去機)
- ・ストーンディガー
- ・デスクチゼル複合機

代表取締役 佐藤 孝一

〒090-0818 北見市本町4丁目7番地15号
電話 (0157) 23-4493
FAX (0157) 23-4499

株式会社
キユウホー

代表取締役社長 永井博道
携帯 090-8272-3502

〒089-3721 北海道足寄郡足寄町旭町5丁目71-1
TEL 0156-25-5806 FAX 0156-25-6121
mail hn@cpost.plala.or.jp HP http://www11.plala.or.jp/qfo/



Simple is Best — 理想のシステム開発

代表取締役 社長

佐々木 通彦
SASAKI MICHIHIKO

株式会社 エフ・イー

本社・工場
〒078-8273 旭川市工業団地3条2丁目2番27号
TEL:0166-36-4501 FAX:0166-36-4502
HANDY PHONE:090-8272-7007
E-mail:info@fesystem.co.jp
sasaki@fesystem.co.jp

http://www.fesystem.co.jp

平成26年 謹賀新年

ホクレン農業協同組合連合会

農機燃料自動車部長

阿部 健三

農村ニュース

農業機械の専門新聞です
農政と機械化の問題点
農業機械の新製品動向
農業関連資材の動き

国際農業社

本社 東京都台東区上野1-16-5産経ビル ☎ 03-3831-5281(代)
支社 大阪市西区京町堀1-10-8福岡ビル ☎ 06-6441-2043(代)
URL <http://www5.ocn.ne.jp/nouson-n/>
E-mail nouson-n@vesta.con.ne.jp

一般社団法人 北海道農業機械工業会

役員一同

- 会長 青柳 稔 (株式会社HIIスター 社長)
- 副会長 山田 政功 (東洋農機株式会社 社長)
- 副会長 土谷 令次 (株式会社土谷製作所 会長)
- 事務理事 原 令幸 (学識経験者)
- 理事 本田 正一 (本田農機工業株式会社 会長)
- 理事 安久津 昌義 (日農機製工株式会社 社長)
- 理事 毛利 剛 (サンエイ工業株式会社 社長)
- 理事 福地 博行 (株式会社福地工業 社長)
- 理事 寺崎 康治 (株式会社アトム農機 会長)
- 理事 松田 和之 (訓子府機械工業株式会社 社長)
- 理事 長田 秀治 (オサダ農機株式会社 社長)
- 理事 成田 慶一 (株式会社ロールクリエート 会長)
- 理事 菅野 充八 (スガノ農機株式会社 社長)
- 監事 山本 哲夫 (北海パネ株式会社 専務)
- 監事 小松田 清 (株式会社タカキタ札幌支社 支社長)
- 監事 高井 宗宏 (学識経験者)
- 顧問 村井 信仁 (学識経験者)

月刊 機械化農業

'13農業機械年鑑

農業・農業機械化の動きを知る専門誌

株式会社 新農林社

本社/東京都千代田区神田錦町1-12-3
☎ 03-3291-3671(代) FAX 03-3291-5717
支社/大阪市浪速区元町1-3-13
☎ 06-6648-9861(代) FAX 06-6648-9862
農機新聞のホームページ <http://www.shin-norin.co.jp>



平成26年版 北海道農協年鑑

ニョクトロ DAIRYMAN

日刊 北海協同組合通信

(平成25年4月より電子版へ移行しました)

株式会社 北海道協同組合通信社

〒060-0004 札幌市中央区北4条西13丁目
TEL:(011) 231-5261 FAX:(011) 209-0534

好評発売中

『踏んばれ!!日本農業』 A5判70頁

—— 日本農業の成長産業化目指して ——

週刊 農経しんぼう 購読料年間 15,290円

2014年 農機実業総覧 定価15,239円 (税・送料別)

★お申し込みは 本社: TEL03-3815-0211
(株)農経新報社 FAX03-3815-0265

平成26年 謹賀新年

WADO 除雪機



SW4412A

豊潤なパワー
充実した装備
ハイグレード除雪機

思いのままの操作で、心地よい除雪を
あらゆる雪質や積雪で、
可能性を最大限ひきだせる
WADOの上質をあなたに



和同産業株式会社

本社 〒025-0035 岩手県花巻市実相寺410番地
TEL/0198-24-3221 FAX/0198-41-1221

岩見沢営業所 〒068-0852 北海道岩見沢市大和2条3丁目9番地
TEL/0126-22-6221 FAX/0126-22-2162

URL/<http://www.wados.jp/>



除雪幅

122cm

最大出力

43.6PS

除雪能力

278t/h

揺るぎない実績こそが大きな信頼と性能の評価を得ています。

油圧バケット



F-2SPH型

除雪・収穫作業・資材運搬に最適！

F-2SPHの平行リンク方式は、誤操作なく
誰にでもすぐに使いこなすことができます。
従来のF-2SPより高く上がります。

ソイルクランブラ



NVGA-11型

ソイルクランブラは簡易粗耕起を4~8km/hの
高速で行うことができます。弊社オリジナルの
ナイフ、刃先の角度形状により、下層部の土を
極端に持ち上げることがないため、耕起後の圃場に
急激な変化を与えません。

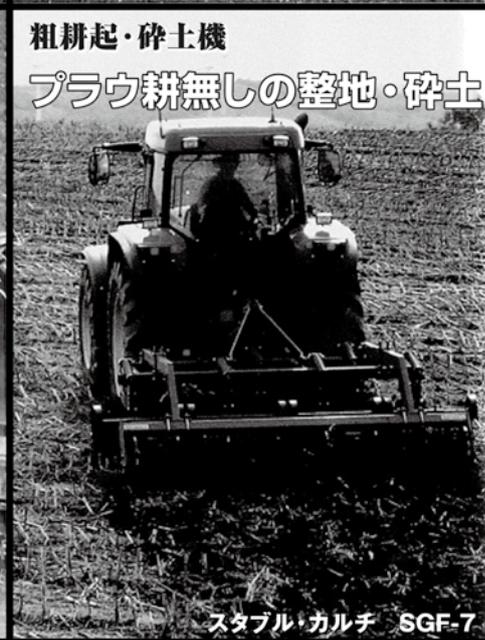
株式会社 **アトム農機**

本社 北海道上川郡美瑛町北町2丁目
Tel (0166) 92-3315 Fax (0166) 92-3410
Eメール atomnoki@phoenix-c.or.jp
HP <http://atomnoki.com>

平成26年 謹賀新年

Ishimura

ISHIMURA FARM MACHINERY
CO., LTD.



地球に優しい“土の機械”を創造する

株式会社 石村鉄工

〒071-0215 北海道上川郡美瑛町扇町
TEL 0166-92-2278 FAX 0166-92-2379
URL <http://ishimura-agri.co.jp>

平成26年 謹賀新年



MF7600シリーズトラクター

エム・エス・ケー農業機械の取り扱いトラクターレンジに新たなシリーズが加わりました。既に発表済みのダイナ6に加えてダイナ4と無段変速式トランスミッションを搭載したダイナVTモデルが加わり、お客様のニーズに更に幅広くお答えする事が可能になりました。

3種類のトランスミッション、ベーシックなエフィシエントモデルと最上級のエクスクルーシブ2つのモデル。定格130馬力～240馬力の中から皆様の要求に最適なトラクターを選択してください。

MF7600トラクターはただハイスペックだけでなく、第2世代SCRシステムを搭載したエンジンは最新の排気ガス規制 Tier3b (=Tier4)を満たしており、クリアな排気と非常に優れた低燃費を両立したトラクターです。

全車標準装備のフロントサスペンション、キャブサスペンション(エクスクルーシブモデルは油圧式調整可能サスペンション)及びエアサスペンションシートがあらゆる作業下で快適な乗り心地を提供します。

”2012年ゴールドトラクターデザイン部門”-アグリテクニカ -ドイツ

”2012年トラクターオブザイヤーファイナリスト”-アグリテクニカ -ドイツ

”2012年マシンオブザイヤー”-アグリテクニカ -ドイツ

”2012年グランドイノベーションアワード”-アグロマッシュ -ハンガリー

”FIMAイノベーションアワード銀メダル”-FIMAショー -スペイン

等数々の賞を受賞した理由を、今度は皆様が実際に使用して体感してください。



MASSEY FERGUSON



エム・エス・ケー農業機械株式会社
〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193-8
TEL:0123-33-3120 FAX:0123-33-3172
<http://www.mskfm.co.jp>

平成26年 謹賀新年



枝豆ピッカー 600

枝豆収穫の大幅な省力化を計る新機構

枝豆を逆さまにし根元茎部をホールタンベルトに供給する懸垂方式と昇降移動中に左右のもぎ羽根の間で脱莢する新機構。

仕様 ※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

型式	機体寸法			重量	脱莢性能	備
	全長	全幅	前高			
HYM-600EGK-C	186cm	107cm	198cm	262kg	110～140kg/H	三相モーター 200V、1kW
HYM-600SM-C	225cm	107cm	205cm	372kg	110～142kg/H	トラクター用 PTO 駆動 35ps～



<http://www.honda-nouki.com>

お求め安く新登場!



水田除草の強い味方! 薬剤散布が安全・確実・簡単に!



- ・ 本機の操作には、資格・免許の必要はありません
- ・ ホイールタイプのプロポ (リモコン) で超かんたん
- ・ 一人であらくらく移動でき、すぐ作業に入れます
- ・ V型船底により、非常に安定した直進性能を実現
- ・ 薬剤は船底から水中に放出するので、飛散の心配がなく、他作物や環境への心配がありません

水田除草用 シャトルボート かん水を自動化するとハウス作業は楽しくなる

ブーム式自動かん水装置

シャトル

SK-X17

苗に優しく、ムラなくかん水

格納も簡単! 6つの快適
長時間駆動! 標準装備
苗にやさしい! 巻き取りも安心!

販売累計台数 6541台!



北央共立販売株式会社

本社・工場 岩見沢市東町 697 の 3
電話代 (0126) 22-6262 番
F A X (0126) 22-6225 番
奈井江支店 奈井江町茶志内 970-10
電話代 (0125) 65-5115 番
F A X (0125) 65-5114 番

平成26年 謹賀新年

やっぱり660 TURBO エアROU[®]は凄い!

はやい、こわれない、こぼれない、もたつかない! ASCSによる抜群の機動性! AROTによる確実な掘り取り! 7,700ℓ大容量タンク! 卓越した小さなけん引抵抗! 洗練された土砂分離!

ご愛顧を賜り
ニチノービートハーベスター **6,438** 台

絶大なるご支持をいただき
エアROU[®] **2,284** 台



クリーン農業の強力サポーター

株間除草アタッチメント「CMS株間輪」、「中期用株間クサトリナ」、「m・AROT（まろっと）リーナ」で株間・根際をスッキリ除草 … 手取り除草、除草剤削減に貢献!

ALL IN ONE 草刈り
草刈り

おかげさまで

累計 **6,133** 台

草刈り



※掲載台数はすべて当社調べ

最新
情報

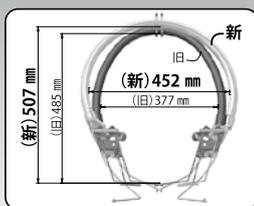
畦追従型除草アタッチメント

m・AROTリーナ[®]が進化!!

ポイント①

アーチが
大きくなった

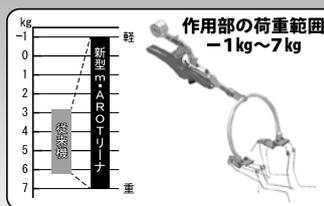
成長した作物の葉を傷めません。



ポイント②

荷重範囲が
広がった

ハンドルを回すだけの簡単調整で、パネを外す必要がありません。硬い畑にも軟らかい畑にも調整自在です。



一歩先に行く

時代は

ニチノー

製造元

日農機製 株式会社

本社・工場 / 〒089-3727 足寄郡足寄町郊南1丁目13番地
TEL(0156)25-2188(代) FAX(0156)25-2107
http://www.nchnp.co.jp

総販売元

日農機 株式会社

本社 / 〒080-0341 音更町字音更西2線17番地
TEL(0155)45-4555(代) FAX(0155)45-4556

- 十勝支店 / TEL(0155)45-4555(代)
- 美幌営業所 / TEL(0152)73-5171(代)
- 小清水営業所 / TEL(0152)62-3704(代)
- 倶知安営業所 / TEL(0136)22-4435(代)
- 美瑛営業所 / TEL(0166)92-2411(代)
- 三川営業所 / TEL(0123)87-3550(代)

平成26年 謹賀新年



地域資源有効活用のキーポイントは“**耕畜連携**”

可変径フィードラッパー

SVW3500・3500LC

※本機は農業機械等緊急開発事業で生研センターと共同開発しました。

自給飼料(コーン/グラス等)の利用促進へ!

作業：梱包 & ラップ
飼料：コーン/牧草等
ベールサイズ：
φ85~110×86 cm

牛も喜ぶ
高品質発酵TMR!
ベールの大きさを
可変径で!!



New

型式末尾 LC タイプは、
ホッパ部計量用の
ロードセル付き。
供給重量を制御し、設定
重量での成形ができます。



大型ロールベアラ / 大型カッティングロールベアラ TRB/TCR シリーズ

デザインエンジニアリングにて
デザイナー新!

仕様

カッティング装置：無 または 有
ヒッチ：一本もの または 2P倍角
結束装置：トワイン または ネット&トワイン

New



TCR3100

作業：梱包
飼料：牧草/稲わら等
ベールサイズ：
φ122×120 cm



TRB3112

前扉にはガルウイング
開閉方式採用

タイヤは幅広扁平タイプ

株式会社IHIスター

道内営業所：千歳・豊富・帯広・中標津

〒066-8555 千歳市上長都 1061 番地 2

TEL.0123-26-1123 FAX.0123-26-2412

<http://www.ihistar.com>